

レジメンと主な副作用の指導内容

- ☆ **治療スケジュール（テセントリク+アバスチン）**
3週間毎に下記の点滴を繰り返します。

	時間	お薬の名前	お薬の作用
①	60分	テセントリク [1200mg] mg	抗腫瘍剤
		生理食塩液 50 ml	
②	90分	アバスチン [15mg/kg] mg	抗腫瘍剤
		生理食塩液 50 ml	

※テセントリクは特に問題なければ2回目以降は30分で点滴します。
※2回目以降、投与時間は60分→30分と、最短で30分まで短縮されます。

☆アバスチンの副作用について

○自覚症状として現れやすいもの

・注射時反応（アバスチン点滴中～）

点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。
また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。
特に初回に多いと言われています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

・出血傾向

鼻血や歯肉・膣などから出血することがあります。
吐血や血便、喀血があらわれた場合はすぐに受診してください。

・消化管穿孔

強い腹痛（吐き気、嘔吐、便秘を伴うことがあります）があらわれたときは、
すぐに受診してください。

・血栓症

意識がもうろうとする、まひが出る、ろれつが回らない、めまいがする、胸が痛む、
息切れがするなどの症状がある場合はすぐに受診してください。

・高血圧

定期的に測定してください。頭痛、頭重感、耳鳴り、めまいなどの症状が
ある場合はすぐに受診してください。

○自覚症状として現れにくいもの（定期的に検査します）

・たんぱく尿

適宜、尿検査を行います。

☆テセントリクの副作用について

○自覚症状として現れやすいもの

・注射時反応（テセントリク点滴中～）

点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。
また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。
特に初回に多いと言われています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

・間質性肺炎

乾いた咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状がある場合は受診してください。

・糖尿病

口や喉の渇き、多飲、多尿、倦怠感などの症状がある場合は受診してください。

・皮膚症状

発疹、皮膚の乾燥、ひび割れが起こることがあります。
皮膚を清潔に保ち、保湿を心がけ、刺激を与えないようにしてください。
しびれやまひなどの症状がある場合は受診してください。

・重症筋無力症、筋炎

手足に力が入らない、ものが二重に見える、筋肉痛などの症状がある場合は
受診してください。

・胃腸障害

下痢、悪心などの症状が現れた場合はお知らせください。

○自覚症状として現れにくいもの（定期的に検査します）

・甲状腺機能障害（定期的に検査します）

疲労、脱力感、食欲不振などの症状が現れた場合はお知らせください。

・血球減少

白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなります。発熱時は受診してください。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は
血が止まりにくくなります。

・肝機能障害

GOT値、GPT値、ALP値の上昇が現れることがあります。

☆ 注意事項

※現れる副作用は個人差があります。記載された副作用以外にも気になる症状が
現れた場合は相談してください。

※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。

※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる
場合があります。